

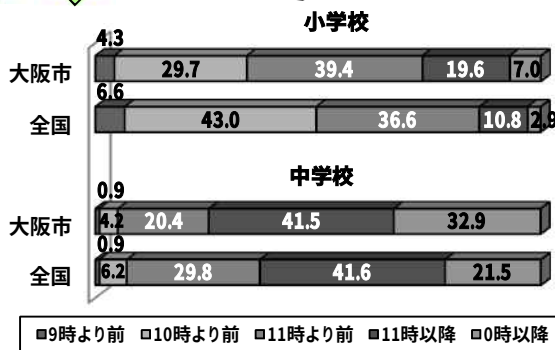
一全国との比較・正答率との相関関係一

「普段、寝ている時刻」について、児童生徒ともに、全国と比較して遅い状況です。

次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。

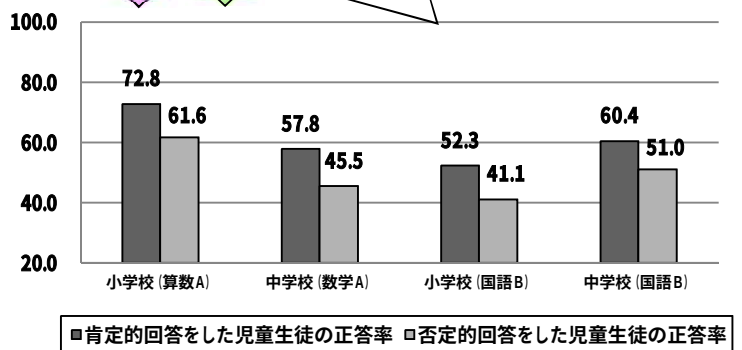
児 生

普段、何時ごろに寝ますか<復活項目>



児 生

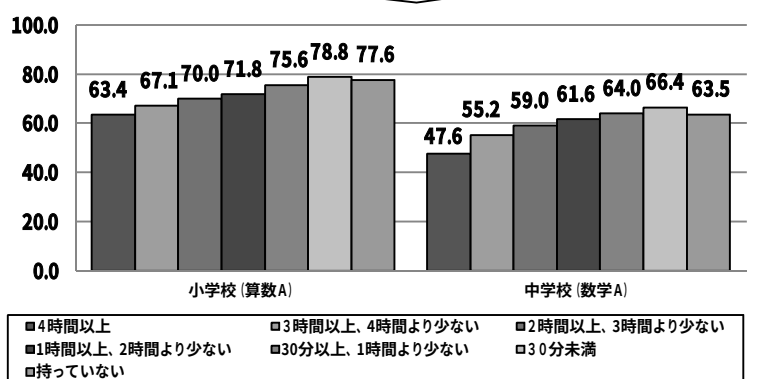
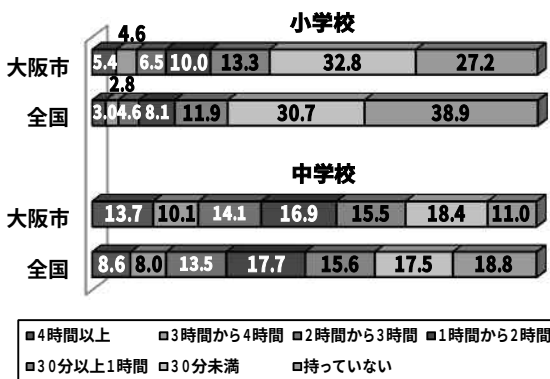
朝食を毎日食べていますか



「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」「テレビゲームをする時間」が少ないほど平均正答率が高い傾向にあります。また、この2つの項目にかかる時間は小中学校ともに、全国と比較して長い状況です。

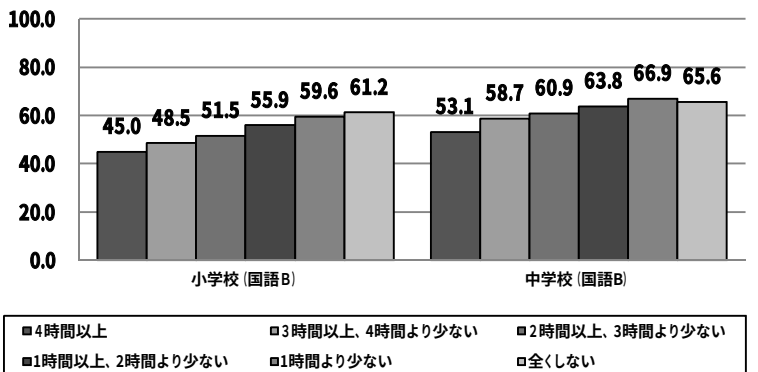
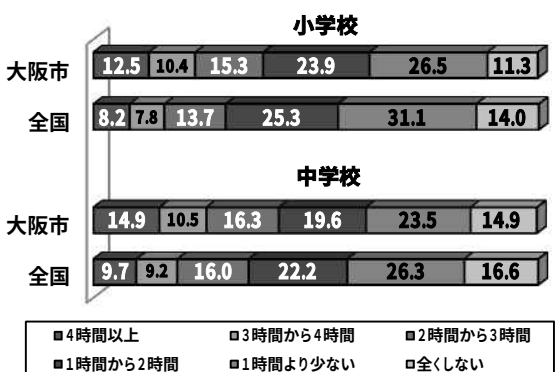
児 生

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



児 生

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



一 経年の比較

「朝食を毎日食べていますか」について、肯定的に回答している児童生徒の割合は、25年度から大きな変化はありません。全国と比較すると低い状況です。

朝食を毎日食べていますか

□している □どちらかといえば、している □あまりしていない □全くしていない □他・無回答



小学校



中学校

H25	82.1	11.3	5.3	1.1	0.0	H25	75.9	12.5	8.1	3.4	0.1
H26	81.7	11.2	5.5	1.5	0.0	H26	75.7	12.2	8.5	3.4	0.1
H27	80.8	11.4	6.0	1.7	0.0	H27	76.3	12.6	7.8	3.3	0.1
H28	81.0	12.0	5.6	1.5	0.0	H28	78.0	12.1	7.1	2.8	0.1
全国	87.3	8.2	3.5	0.9	0.0	全国	83.3	10.0	4.8	1.8	0.0

学校で

- 学校全体で、基本的生活習慣を身につける取組を進めます。
(あいさつ、時間を守る、学習規律など)
- 学校・家庭で身に付けるべき基本的生活習慣を共有します。(懇談会や学校便りなど)
- 朝食やバランスに配慮した食事の大切さについて指導し、食育の推進を図ります。

家庭で

- 毎日の生活を子どもとともに振り返りましょう。
- 携帯電話での通話やメール、インターネットの使用やゲームをする時間など、家庭で相談し、ルールを作りましょう。
- 朝、昼、夕の食事や早寝早起きの習慣付けから、生活のリズムを整えて、一日中元気に生活できるようにしましょう。



効果があつた取組例

- 懇談会や家庭訪問の時間に、保護者と一緒に学校や家庭での生活を振り返り、規則正しい生活の大切さについて話し合っています。
- 全学年で給食や教科と関連させた食に関する指導を計画的に進めることで、健康や食事について意識の向上を図っています。
- 保護者の協力を得ながら、ノーゲーム・ノーテレビデーを月1回設定しています。
- 学期の始めや終わりには、ホームページや保護者メールを通じて、「持ち物」や「登校時間」などを確認することで、忘れ物や遅刻が減ってきています。

大阪市の取組

「学校キャラバン隊の派遣」(P.46)

一家庭学習を計画的にしましょうー

児

児童質問紙

生

生徒質問紙

学

学校質問紙

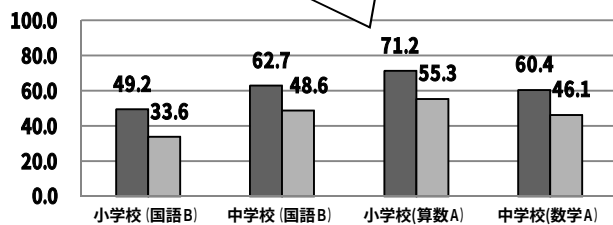
一正答率との相関関係ー

次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で正答率が高い傾向にあります。

児

生

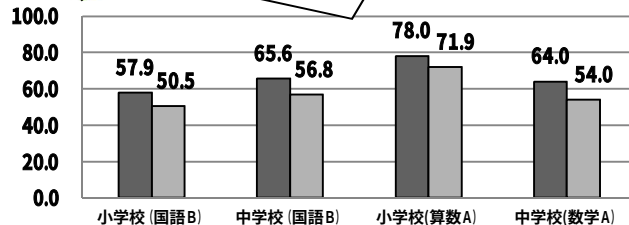
家で、学校の宿題をしていますか



児

生

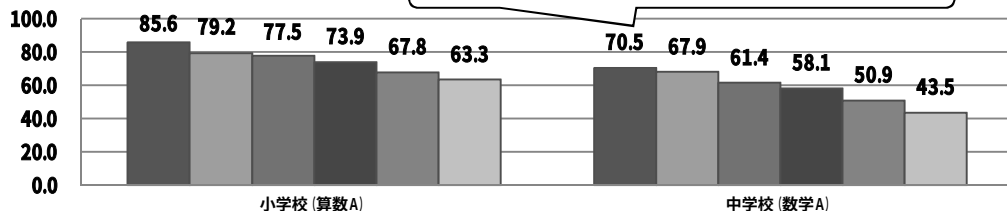
家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか<新規項目>



■肯定的回答をした児童生徒の正答率

□否定的回答をした児童生徒の正答率

普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



- 3時間以上
- 2時間以上 3時間より少ない
- 1時間以上 2時間より少ない
- 30分以上 1時間より少ない
- 30分より少ない
- 全くしない

一全国との比較ー

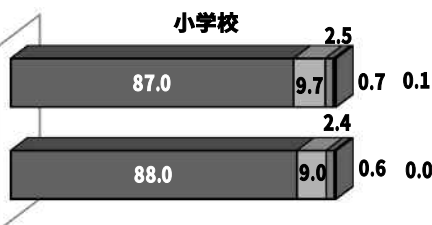
「家で、学校の宿題をしていますか」「自学自習において、教科書を使いながら学習していますか」について、肯定的に答えている児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。「普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」は、全国と比較して3時間以上と回答している割合は高いものの、30分以下と回答している割合も高い状況です。

児

大阪市

全国

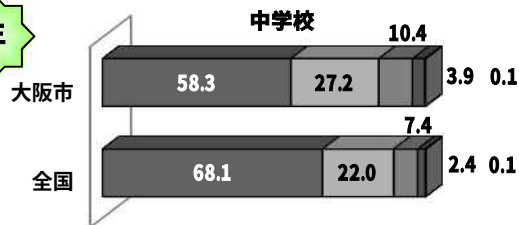
家で、学校の宿題を
していますか



生

大阪市

全国



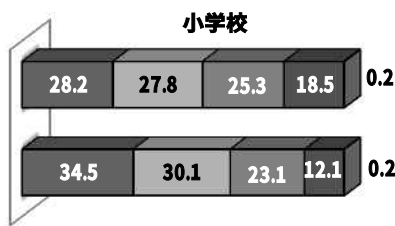
■ している □ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない □ 他・無回答

児

大阪市

全国

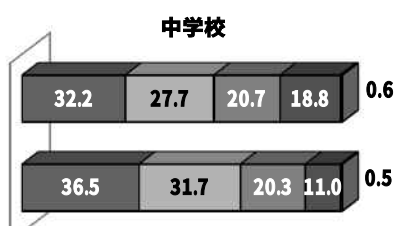
自学自習において、教科書を使いながら学習していますか<新規項目>



生

大阪市

全国

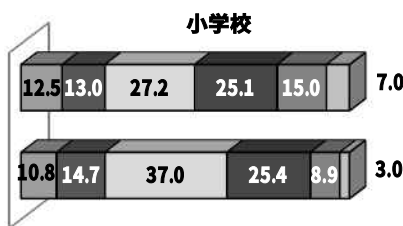


児

大阪市

全国

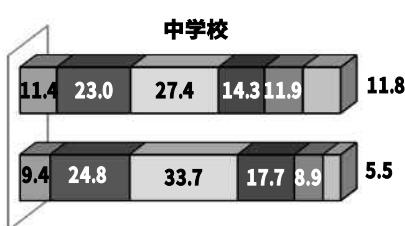
普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



生

大阪市

全国



■ 3時間以上 □ 2時間以上、3時間より少ない □ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない □ 30分より少ない □ 全くしない

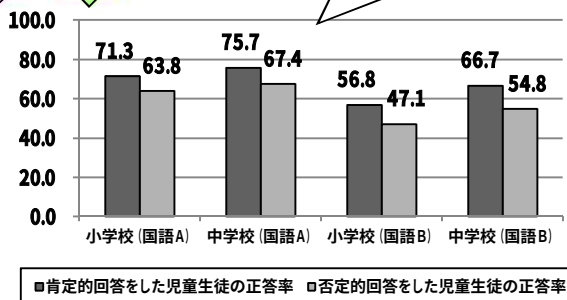
一正答率との相関関係・全国との比較一



「読書は好きですか」について、肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。また、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。

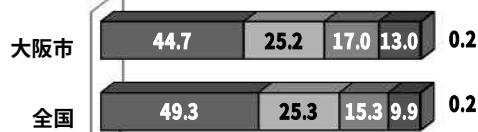


読書は好きですか

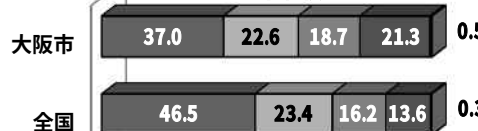


読書は好きですか

小学校



中学校



■ 当てはまる
□ どちらかといえば当てはまる
□ どちらかといえば当てはまらない
■ 当てはまらない
■ 他、無回答

学校で

- ・ 放課後などを活用して、自主学習の機会を設けます。
- ・ 与えられた課題や宿題は、やり遂げるように指導します。
- ・ 学校全体で共通理解を図りながら、宿題の分量や出し方を工夫します。
- ・ 懇談会などを活用して、学習習慣を育むために、家庭との連携をとります。
- ・ 朝読書などの時間を設け、読書習慣の定着を図ります。



家庭で

- ・ 宿題を確実に仕上げるように、見守りましょう。
- ・ 家庭学習の内容や時間については、自分で計画を立てて取り組めるように話し合ひましょう。また、うまく進まない時には、声かけをし、励ましましょう。
- ・ 宿題以外にも、復習や読書など、自分で考えた課題に取り組めるように、話し合ひをもつなど声かけをしましょう。



効果があつた取組例

- ・ 「家庭学習の手引き」を配付し、取り組み方を示しています。
 - ☆ 漢字では・・・筆順・熟語・文づくり・意味調べなど、いろいろなパターンで取り組ませています。
 - ☆ 音読では・・・毎日のめあてを決め、目的をもって読ませています。
- ・ 学年に応じた読書冊数目標を設定し、積極的に読書活動を進めています。目標を達成できた時には、カードを与え賞賛しています。
- ・ 毎月読書週間を設定し、高学年が低学年の読み聞かせをしています。
- ・ 自分で課題を見つけて学習するような、自主学習の機会を増やしています。
- ・ 図書館の環境整備により新たに読み聞かせスペースを作ったり、開館時間を長くしたりしています。



大阪市の取組

「学習教材データの配信」(P.39)

「学校図書館活性化事業の実施・学校図書館活用推進事業の実施」(P.41)

「学力向上支援サポーターの配置」(P.42)「学校元気アップ地域本部事業の実施」(P.45)

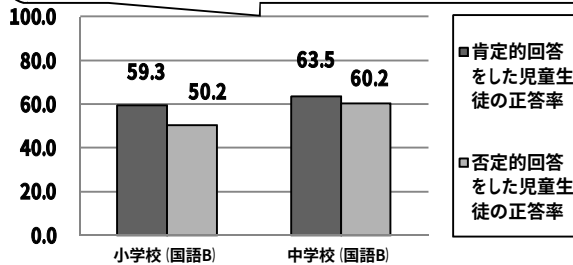
—正答率との相関関係—

次の項目に肯定的に回答している児童生徒、学校の方が正答率が高い傾向にあります。

児

生

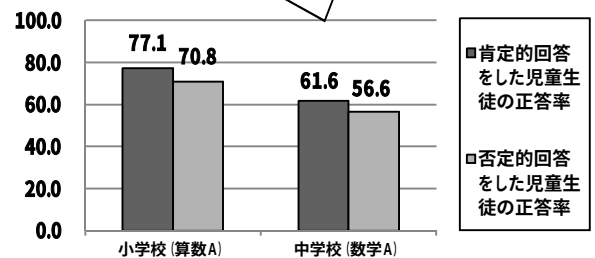
学級会などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている<新規項目>



児

生

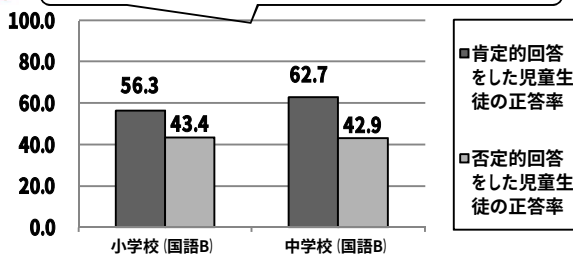
自分には良いところがあると思う



児

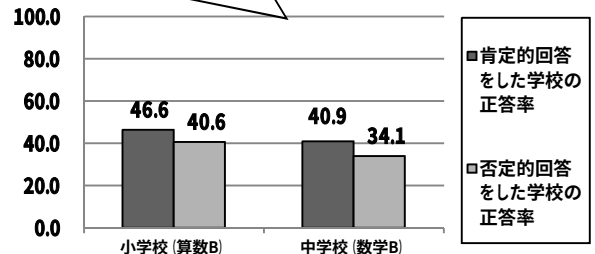
生

学校のきまりや規則を守っていますか



学

学習規律の維持を徹底している



—全国との比較—

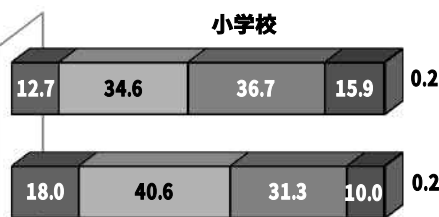
「学級会などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」「自分には良いところがある」について肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。

学級会などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている<新規項目>

児

大阪市

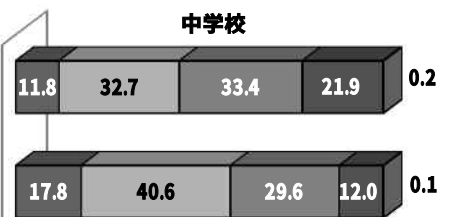
全国



生

大阪市

全国



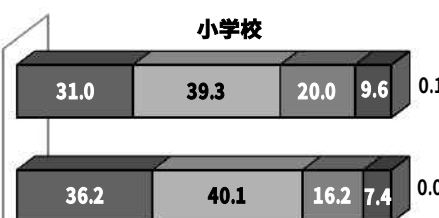
■している □どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない □他、無回答

自分には良いところがある

児

大阪市

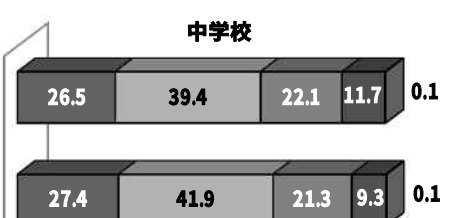
全国



生

大阪市

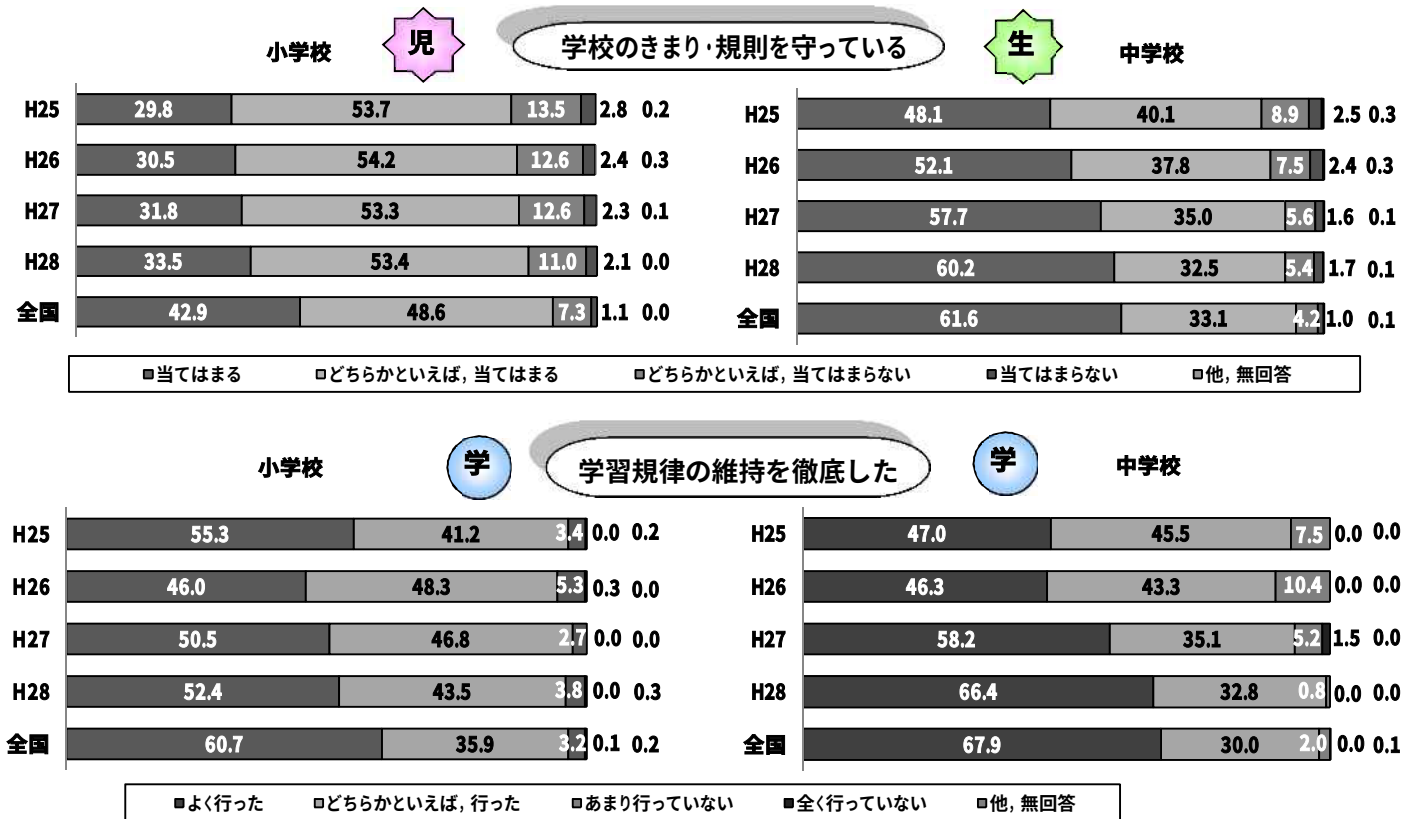
全国



■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない □他、無回答

一経年の比較一

「学校のきまりや規則を守っていますか」について「当てはまる」と回答をした児童生徒の割合は、26年度から小・中学校ともに増加傾向にあります。「学習規律の維持を徹底した」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、26年度から小中学校ともに増加傾向にあり、中学校では肯定的回答をした学校の割合が全国を上回っています。



学校で

全員が主体的に学習に参加し、活躍できる場面を設定します。

- ・ 一人一人のよさを認め、自己有用感を育てます。
- ・ 学習規律や基本的学習態度を身に付けさせることから、学びの基盤を整えます。
- ・ ルールを守ることなど、規範意識を高めることにより、より良い人間関係を築きます。

家庭で

- ・ 子どもの取組を粘り強く見守り、励ましましょう。
- ・ 子どもが自信をもって取り組んでいる時に、がんばりを認める温かい言葉をかけましょう。
- ・ 夕食や家事の手伝いを通して会話を楽しみ、よくできたことなどをほめましょう。
- ・ 大人が自分自身の経験を語ったり、子どもの夢や希望について積極的に対話したりしましょう。

効果があった取組例

- ・ 友達の良いところを見つけて発表し合う活動を通じて、自己有用感を高め、自分の良さや自分の存在価値を感じさせるようにしています。
- ・ 「時間を守る」「学習の準備を行う」など、学校全体で学習規律の確立に取り組んでいます。
- ・ 漢字検定や英語検定などを活用し、子どもが主体的に学習する取組を続けています。
- ・ がんばりが見られた時には、家庭や学校全体で共有し、ほめるタイミングを逃さないようにしています。

大阪市の取組

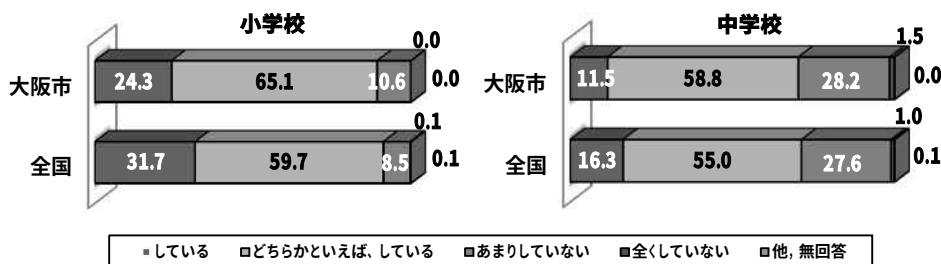
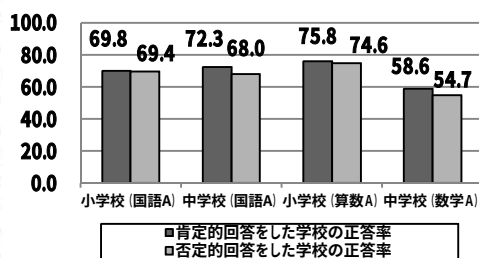
「生活指導支援員の配置」(P.43)
「学校キャラバン隊の派遣」(P.46)

一 正答率との相関関係・全国との比較一

次の項目に肯定的に回答している学校の方が全ての教科で正答率が高い傾向にあります。しかし、肯定的に回答している学校の割合は、全国と比較して低い状況です。

学

指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている＜新規項目＞

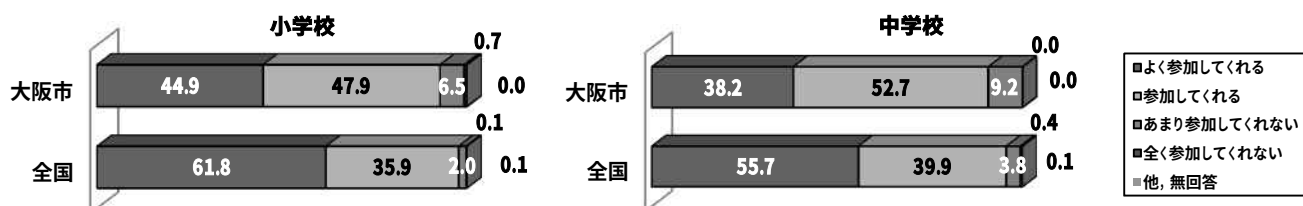


一 全国との比較一

「PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれている」について、肯定的に回答している学校の割合は、全国と比較して低い状況です。

学

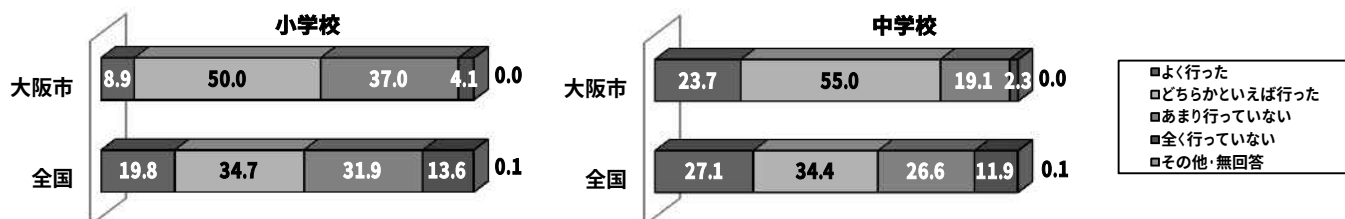
PTAや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか



「近隣の小中学校と教育目標を共有する取組を行っている」について、肯定的に回答している学校の割合は、全国と比較して高い状況です。

学

近隣の小中学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか＜新規項目＞



学校で

- ・ 学校園の「運営に関する計画」の策定に、学校協議会を通じて学校関係者の意向を反映します。
- ・ 中学校区では、「学校元気アップ地域本部」の活動により自主学習支援や学校図書館の活性化を図り、地域人材を招聘した授業の実施を進めます。
- ・ ニュースや地域の出来事なども話題にして、地域・社会に関する興味関心を育てます。
- ・ 小中一貫した教育の充実にむけて、小中合同の連携会議を開催し、出前授業や体験授業の充実などに取り組みます。

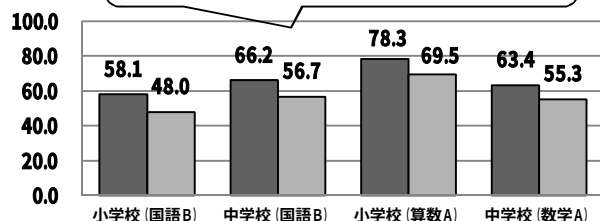


ー正答率との相関関係ー

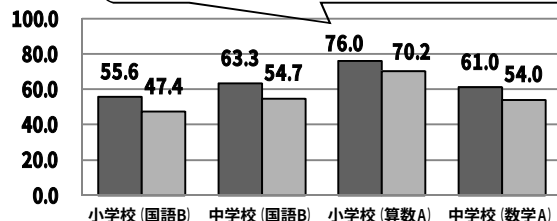


次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で正答率が高い傾向にあります。

地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか



テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



■ 肯定的回答をした児童生徒の正答率
□ 否定的回答をした児童生徒の正答率

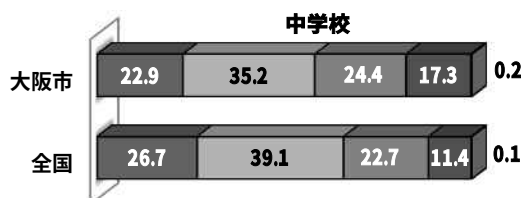
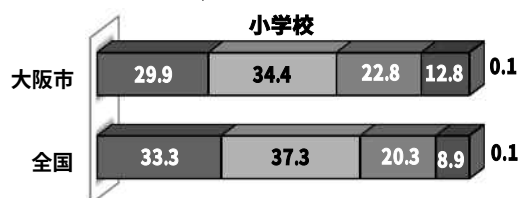
ー全国と比較してー

「地域や社会に関心がある」「テレビ等のニュース番組を見る」について、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。

児

地域や社会で起こっている出来事に関心がありますか

生

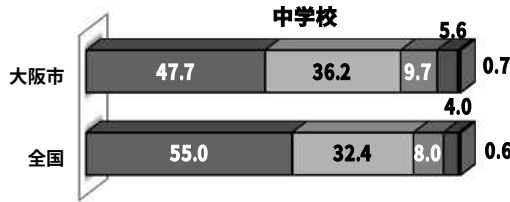
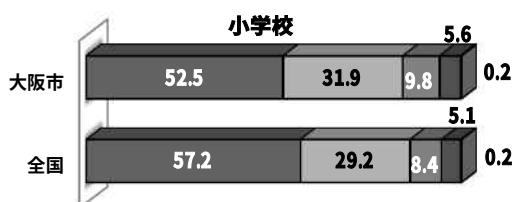


■ 当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまる
□ あまり当てはまらない
■ 全く当てはまらない
□ 他、無回答

児

テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか

生



■ よく見る
□ ときどき見る
□ あまり見ない
■ ほとんど、または、全く見ない
□ 他、無回答

家庭で

- ・ 子どもの話をよく聴きましょう。学校でのがんばりをほめましょう。
- ・ 地域の行事に積極的に参加することにより、地域の一員としての自覚をもたせましょう。
- ・ 新聞やテレビでニュース番組を見ることで、世界の動きや情勢などを知り、グローバルなものを見方をしていくことが大切です。

効果があつた取組例

- ・ 学校図書館補助員（地域ボランティア）による読み聞かせをしています。読書の苦手な子どもが読書は楽しいと思える取組を進めています。
- ・ 小学校から中学校に進学する時に子どもの学力の実態を共通理解する場を設け、中学校において、小学校で身に付けた強みを一層伸ばし、努力が必要な点を重点的に支援するようにしています。
- ・ 地域の方が地域の会館を開放し、子ども自らが主体的に自学自習できる環境をつくり、学習支援に取り組んでいます。

大阪市の取組

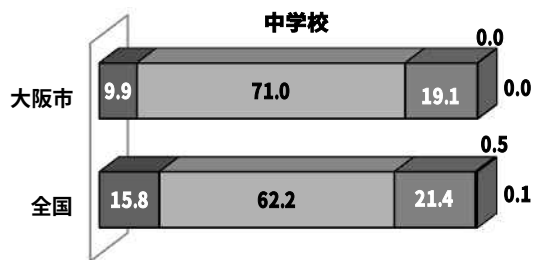
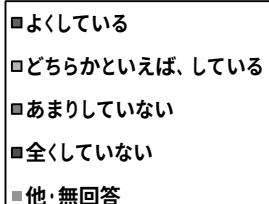
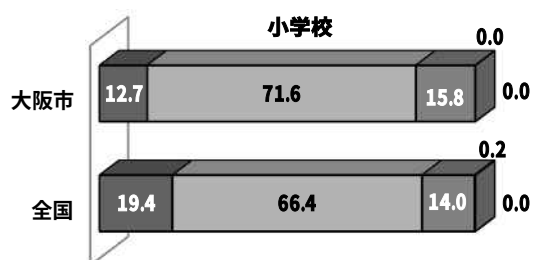
「学校図書館活性化事業の実施・学校図書館活用推進事業の実施」(P.41)
「小中一貫した教育の推進」(P.44)「幼稚園・保育所・小学校の連携」(P.45)
「学校元気アップ地域本部事業の実施」(P.45)「学校キャラバン隊の派遣」(P.46)

ー 全国との比較 ー

学

指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点でその目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している<新規項目>

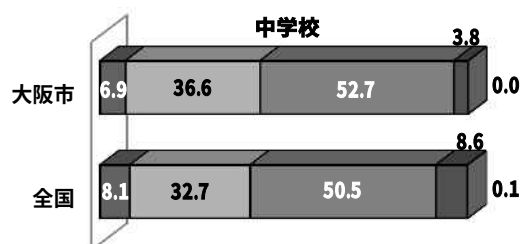
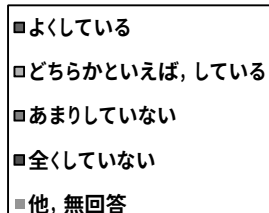
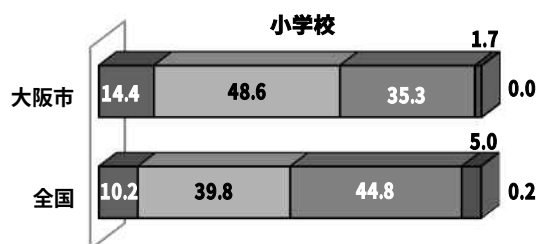
「指導計画の作成に当たって、学校の教育目標の達成に必要な内容を組織的に配列している」について、「よくしている」と回答した学校の割合は、全国と比較して小中学校ともに低い状況です。



学

コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子ども同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っている<新規項目>

「情報通信技術を活用して、課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っている」について、肯定的に回答した学校の割合は、全国と比較して小中学校ともに高い状況です。

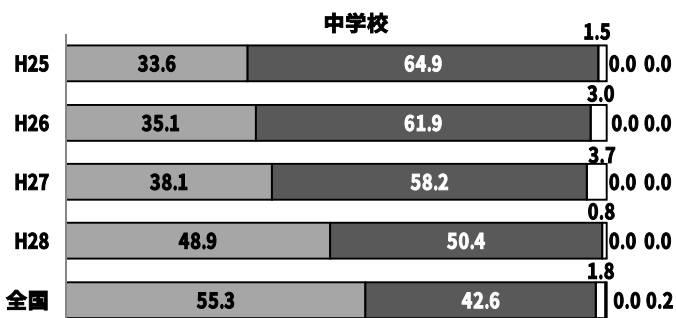
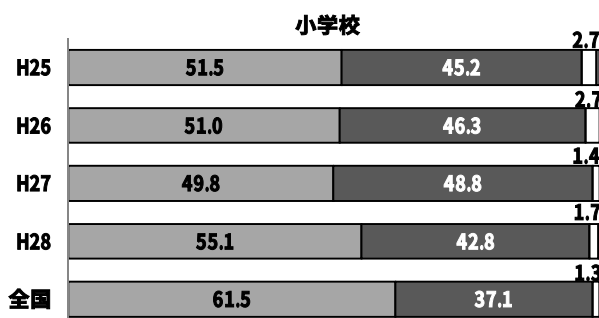


ー 経年の比較 ー

学

学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有している

「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員で共有している」について、「よくしている」と回答した学校の割合は、27年度と比べ、小中学校ともに増加しており、中学校では肯定的な回答をした学校の割合が全国を上回っています。



□よくしている □どちらかといえば、している □あまりしていない ■全くしていない ■他・無回答

学

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

小学校	H25	30.3	37.9	27.9	4.0	0.0	0.0
	H26	43.0	42.3	13.6	1.0	0.0	0.0
	H27	72.2	18.3	8.5	0.3	0.0	0.7
	H28	77.7	13.7	7.2	1.4	0.0	0.0
	全国	32.3	20.3	35.1	12.1	0.0	0.2
■年間13回以上 ■年間9回から12回 ■年間5回から8回 ■年間1回から4回 ■全くしていない □他、無回答							
中学校	H25	12.7	29.8	36.6	20.2	0.0	0.7
	H26	21.7	26.9	34.4	17.1	0.0	0.0
	H27	56.0	11.9	16.4	15.6	0.0	0.0
	H28	52.6	12.2	17.6	17.5	0.0	0.0
	全国	17.4	18.9	31.1	32.2	0.2	0.1

「授業研究を伴う校内研修の実施回数」について、小中学校ともに全国平均を大きく上回っており、特に年間13回以上と回答した学校の割合は、小学校で全国の約2.4倍、中学校で全国の約3倍となっています。また、「研修リーダー等を校内に設け、組織的・継続的な研修を行った」について、肯定的に回答した学校の割合は、小学校では100%でした。

学校で

- 学校の教育目標の達成をめざし、教科横断的な教育課程を編成し、学力向上をはじめ、子どもの体力向上への支援や食育の取組、道徳教育の推進などに取り組みます。
- 「全国学力・学習状況調査」などの結果分析を基に、学校全体の学力の傾向や課題を全職員で共有し、PDCAサイクルに基づいた学校改善を進め、学力向上に向けた具体的な取組を進めます。
- 校長のリーダーシップのもと、研修リーダーなどを校内に設け、校内研修の実施計画を整備して組織的・継続的な研修を進めます。
- ICTを活用し、教員の指導の質と子どもの学びの質を向上する取組を進めます。



効果があった取組例

- 若手教員を中心としたメンバーで教科指導や道徳の指導法を学ぶ研修会を設定し、管理職がその内容を常に点検しながら研修の充実を図っています。
- 週に1度の学年打合せ会を設け、学力傾向や課題、生活指導や集団作りについて共通理解しています。
- ICT機器を活用した協働学習についての校内研修会を設定し、効果的なICT機器の活用による学習指導の改善を図っています。
- 指導主事や教育センターの教育指導員などによる指導助言に加え、大学教授や外部講師の積極的な活用を行い、校内研修の充実を図っています。

大阪市の取組

「校園内研修支援・OJT事業の実施」(P.43)